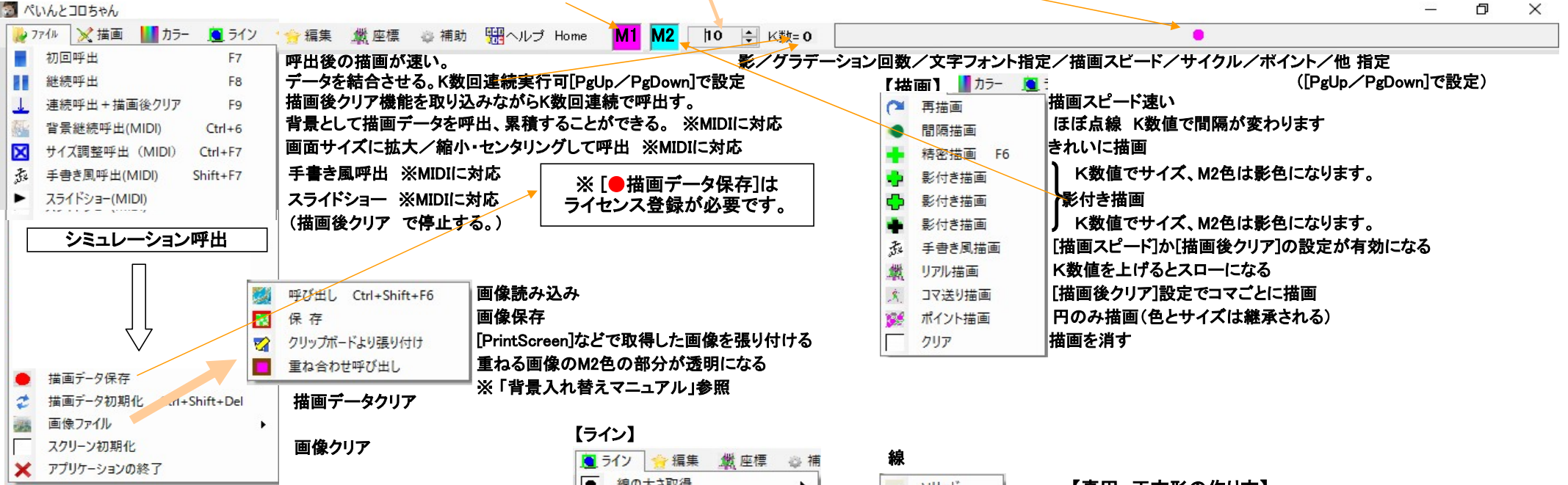


【Key設定】

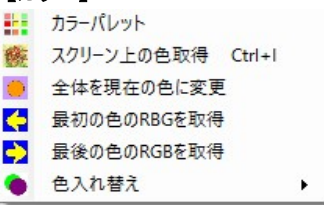


- ①移動方向指定
②Ctrl:グラデーション方向指定
③「5」は点を作成

【メニューバー】



【カラー】



自由に色を設定できる
指定位置の色を取得(マウスをクリック)
現在使用中の色に全体を変更

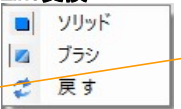
【編集】



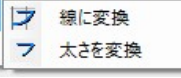
X1,Y1とX2,Y2で色を変えてグラデーションを作り、指定方向にK数値分コピーを作成



【Line変換】



【自由曲線変換】



描画中の画像をクリックしたポイントに移動できる

途中描画時に画像消去間隔を変更する
最終描画時に画像消去を設定

【動作解析用座標操作】



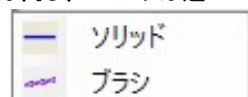
座標入力から保存までの作業を軽減させる機能(ライセンス登録が必要)
Z座標があれば結合させて三次元データにすることができる
X, Y座標とZ座標の縮尺を合わせる
サイクル数が同じ場合、前に作成したファイルの1サイクルから線種、ポイントサイズとカラーデータ等(Z座標値)を読み込んで全体に継承することができる
コマ(1画面)に何ポイント作成するか設定する
サイクルデータ内ポイントのサイズを設定する
サイクルデータ内ポイントのカラーを設定する
サイクルデータ内ポイントの線種を設定する
指定したポイントのX座標(横)を固定する
指定したポイントのY座標(縦)を固定する
[指定ポイント]または全部を表示、複数のポイントを表示させる場合はこの処理を繰り返す
X, Y, Zの座標を入れ替える。Z座標とY座標を入れ替えて回転させて戻せばZ軸が回転したことになります
二次元データにZ座標を追加(K数値が0の場合Z=100、0以外はZ=K数値となる)
データを逆順に並べ替える

※サイクルデータはメモ帳で編集可

線種 1:2点のサイズと色を替えられるがスピードは遅い



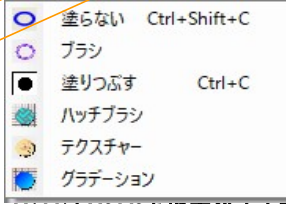
線種40:ソリッド:2点のサイズと色は同じ、スピードは速い
線種41:ブラシ:ソリッドと同じ



【真円、正方形の作り方】

真横・真縦に線を引いてから円、四角の項目を選択する

【円】



【四角】



X1,Y1とX2,Y2を指定後太さ表示部分をクリックするとフォントタイアログとテキストボックスが表示されるので文字入力後エンターキーで設定できる
([PgUp/PgDown]でスタイル変更)
M2の色で枠を付ける
マウス(左)を押している間、座標データが取得できる。マウス右で解除
指定範囲を塗りつぶす(M1色:外枠、M2色:塗りつぶす色)
開始点及び終了点の設定(300ポイント以内)

【拡張設定】

[拡大]、[縮小] 時に横のサイズは固定となる
Ctrl+0,1,2,3 に対応 現在拡張中

【補助】



描画データ作成中に使用
目表示 ON/OFF
マウス位置に移動
M2の色が背景色になる
描画データを背景に移動
MIDIコードを再生
初期値に戻す(M1::ピンク M2:水色)
2D,3D距離測定、結果は文字表示へ
拡張機能が設定された機能が有効になる
登録後描画データ保存可